

## \*医師の方へ\*

以下は、自律神経反射障害 (AD) を持つ小児に対し推奨される治療法です

- 患者さんを直立姿勢 (90°まで) で座らせます。
- 2〜3分ごとに血圧を計測します。
- 簡単な検査を行い、腹部で膀胱／腸が膨張していないか、そして損傷部位より下位にあるその他の臓器系で、反射異常の原因となっている可能性があるものがないかを調べます。
- 膀胱留置カテーテルが使用されていない場合は、カテーテルを留置します。膀胱留置カテーテルが使用されている場合は、システムにねじれや折り目、狭窄、閉塞がないか確認します。
- 収縮期血圧が以下の場合：
  - >120 (5歳未満の小児)
  - >130 (6〜12歳の小児)
  - >140 (青年期)自律神経反射障害の原因を調査中、速効性で効果持続時間の短い降圧薬を投与します。
- ニトログリセリン軟膏—約1.3cm (13歳未満) または約2.5センチ (13歳以上) を、損傷部位より高位の部分に30分ごとに2.5センチほど塗布します。血圧が安定したら拭き取り、必要に応じて再塗布します。
- ニフェジピン (ニトログリセリン軟膏が使用できない場合)—1回あたり0.25〜0.5 mg/kg (13歳未満) または 1回あたり10 mg (13歳以上) の即放性製剤を舌下に噴出させるか、患者にチュアブル錠を噛んでもらいます。必要に応じて20〜30分ごとに繰り返すことができます。
- 静注降圧薬—監視環境 (ICU) でのみ使用します
- 自律神経反射障害のエピソードが消失してから少なくとも2時間は症状と血圧を監視します。
- 自律神経反射障害は痙攣や脳卒中、死につながる可能性があります。

## 私の情報

名前:

-----

病歴

ベースライン血圧:

-----

ベースライン体温:

-----

神経損傷部位:

-----

主治医:

-----

電話番号:

-----

アレルギー:

-----

緊急連絡先

緊急時の連絡先:

-----

関係:

-----

電話番号:

-----

この刊行物は、米国防健福祉省 (HHS) コミュニティ生活局 (ACL) の支援により、ACL/HHSが100パーセント出資する総額870万ドルの財務支援金制度の一環として発行されています。本書の内容は著者のものであり、必ずしもACL/HHSや米国防政府の公式見解を反映したり、その承認を意味したりするものではありません。

小児版

# 自律神経反射障害 (AD)



説明:

血圧は、心臓から全身へと血液がどのくらいうまく運ばれているかを測定するものです。自律神経反射障害 (AD) は、第6胸髄 (T6) より高位に脊髄損傷がある人の血圧に影響を及ぼします。何か有害なものや痛みを伴うものに傷つけられると、身体は混乱してそれが何なのかわからなくなってしまいます。これにより身体がパニック状態になり、血圧が上昇します。血圧が高くなりすぎるのは危険です。何が傷つけているのかを突き止め、それを取り除くことが重要です。これを直さないで危険で、その人が重病になる可能性があります。

**自律神経反射障害は医学的緊急事態です。**

一般的な原因:

- いっぱいにたまった膀胱
- いっぱいの腸／便秘
- 傷
- 骨折
- 皮膚の火傷
- 感染症
- 陥入爪・巻き爪
- 痛みや不快感を引き起こす可能性のあるもの、神経損傷部位よりは下位に位置する疾患や処置。



### 損傷部位より高位

- 高血圧(血圧の急激な上昇、小児では収縮期血圧が通常よりも15 mmHg高く、青年では収縮期血圧が通常よりも15~20 mmHg高い)
- 徐脈(遅い心拍)または頻脈(速い心拍)
- 激しい頭痛
- 緊張する/心配な/恐い感覚
- 頬/首/肩が赤くなる
- 霧視
- 鼻づまり
- 発汗
- 鳥肌
- ピリピリ感

### 損傷部位より低位

- 胃のむかつき、吐き気
- 発熱を伴わない悪寒
- 冷湿または冷たい状態での汗ばみ
- 冷たい
- 蒼白

- **真つすぐに座る**—真つすぐに座るか、頭を90°上げます。

重要: 血圧が正常になるまで座ったままです。

- **脱ぐ**—きついものは脱ぐか緩めます。

- **血圧をチェックする**—血圧が通常よりも高い場合(小児の場合は通常より15 mmHg高く、青年の場合は通常より15~20 mmHg高い場合)は、5分間隔で血圧を測定します。必ず適切なサイズの血圧測定用カフを使用してください。

- **膀胱をチェックする**—膀胱を空にします(すなわち膀胱にカテーテルを留置します)。カテーテルが留置されている場合は、ねじれや閉塞がないか確認します。

- **腸をチェックする**—麻酔ゼリーまたは軟膏を使用後、腸をチェックします。

- **皮膚をチェックする**—皮膚に新しい傷やひりひりする部分、あざ、火傷、ぶつぶつの腫れ、切り傷、虫刺されなどがないか調べます。

- **その他の原因を見つける**—症状がなくならない場合は、他に支障を来しているものがないか探します。

- **助けを求める**—自力で症状を速やかに解消できない場合は、医療機関に連絡をして支援を受けるか、最寄りの救急科で受診してください。

重要: 病院に行く場合は、自律神経反射障害の可能性があること、血圧をチェックする必要があること、まっすぐの状態で座っている必要があること、そして問題の原因を究明する必要があることを医師や看護師に伝えてください。



International Center for Spinal Cord Injury  
at Kennedy Krieger Institute  
Research. Restoration. Recovery.



636 Morris Turnpike, Suite 3A  
Short Hills, NJ 07078  
電話: 800-539-7309  
[www.ChristopherReeve.org](http://www.ChristopherReeve.org)

707 North Broadway  
Baltimore, MD 21205  
電話: 443-923-9230  
[www.spinalcordrecovery.org](http://www.spinalcordrecovery.org)